

## わか杉国体まであと200日!

### カウントダウン看板を設置

国民のスポーツの祭典第62回国民体育大会「秋田わか杉国体」の開会まであと200日となった3月13日、開会までの日数を表示するカウントダウン看板が市役所本庁舎前に設置され、幼稚園の子どもの参加でカウントダウン開始のセレモニーが行われました。この日のセレモニーには佐藤修助助役と、統合のため今年度で閉園になる鷹巣北幼稚園の子どもたち11人が参加しました。園児たちは、雪が吹き付ける荒天にもかかわらず元気いっぱい看板を取り囲み、佐藤助役が200日の「2」の数字を、代表の園児2人が「0」の数字を看板に差し込み、本市での国体の成功を願いました。



カウントダウン看板を設置した鷹巣北幼稚園の園児ら

## さよならなら竜森寮

### 鷹巣南中寄宿舎「竜森寮」が閉寮

平成18年度で閉寮となる鷹巣南中学校の寄宿舎「竜森寮」で3月9日、最後の卒業式が行われ、6人の卒業生が不安や期待などさまざまな思いを胸に過ごした共同生活を終えました。また、同寮の閉寮式と「思い出を語る会」が同月17日、七日市葛黒の竜森コミュニティセンターで開かれ、300人を越える寮生を送り出した40年の歴史に幕を閉じました。同寮は、旧竜森中学校と鷹巣南中学校の統合により、遠距離通学となる竜森地区の生徒を対象として昭和42年に開設されました。秋田県内では唯一の寄宿舎。しかし、少子化の影響などで寮を利用する生徒が少なくなってきたことから、今年度の卒業生を最後に廃止されることになったものです。

17日に行なわれた閉寮式には寮生・卒業生と保護者、同中学校の教職員、竜森地区各集落の自治会長ほか地域のみなさんが出席。はじめに岸部市長が「寮を利用した生徒たちは、共同生活を通し人間形成に大いに役立ったと思う。貴重な経験を生かせるように感謝の気持ちを持って、成長することを期待する」と式辞を述べ、続いて同中の田山校長が、「竜森寮という巨大なプロジェクトは終了するが、卒業生が未来に向かって大きくはばたくことを祈念する」とあいさつ。この後、寮生を代表して堀部憲正君（3年）と藤原菜摘さん（2年）が、共同生活で学んだ思い出を発表、最後に、旧竜森中学校の校歌が

もともとなった寮歌を全員で斉唱し式典を終えました。

【鷹巣南中学校と竜森寮の沿革（一部）】

昭和22年	国民学校制度が廃止され、6・3制発足する。七日市中学校が七日市小学校に、七日市中学校竜森分校が竜森小学校（鳥越）校舎に、沢口中学校が沢口小学校に併設される。
35年	七日市中学校と鷹巣中学校沢口校舎の一部が統合し、鷹巣南中学校が発足。竜森中学校が統合。
41年	竜森中学校が統合。
42年	校舎増築、寄宿舎竜森寮新築。実質統合及び創立20周年記念式典
49年	吉野分校教室開設。
61年	校舎を七日市から現在地に移転、新築。竜森寮移転。
平成9年	創立50周年記念式典。記念碑除幕。
19年	竜森寮閉寮。



平成18年度で役目を終えた竜森寮

## 北秋田市での思い出を胸に巣立つ

### 山村留學まとはび学園修園祭

山村留學まとはび学園（園長・三澤仁市教育長）の修園祭が3月20日、市学童研修センターで開かれ、関係者約50人が出席のもと、1年間親元を離れ、北秋田市の自然に囲まれて生活した子どもたちの門出を祝福しました。今年度は、山野井淳仁さん、清水真澄さん、四家怜菜さん、松尾洋希さん、仲宗根瑠美さん、春日原美樹さん、春日原美草さんの7人が山村留學生活を送りました。子どもたちは、自分たちで育てた米や野菜の収穫、動物の飼育、スキー、山菜採り、伝統行事万灯火の体験など、まとはび学園で体験した生活や様々な思い出を振り返りながら、1年間の研修の成果を発表しました。



最後のまとはび学園太鼓を演奏する児童

## 今年もきれいな桜を

### 松栄自治会桜の剪定作業

「桜のトンネル」で有名な米内沢地区の松栄自治会（九嶋喜貴会長）の会員が、今年もきれいな桜を咲かせようと、このほど桜の剪定作業を行いました。

松栄の桜は昭和27年から植樹され、約1キロに及ぶ桜並木はドライバーの目を楽しませる春の風物詩となっているほか、市の文化財にも登録されており。

地元松栄自治会では毎年、桜の剪定作業を行っていますが、桜の老朽化が激しく、台風等に耐えられない状態のものもあると話しており、少しでも永く桜並木を守っていききたいと会員は肌寒い中、桜の樹に愛情を注ぎながら作業を行ないました。



桜の剪定作業を行なう松栄自治会の会員

## 温泉の効用などに理解

### 秋田内陸線「みんなでイキイキ健康づくり列車」

秋田内陸線再生支援協議会主催の内陸線乗車促進と心身の健康づくり、沿線市民の親睦などを目的に「イキイキ健康づくり列車」が3月8日と14日の2日間運行されました。

8日は、北秋田市と仙北市の沿線住民など約60名が参加し、北秋中央病院名誉院長で秋田内陸縦貫鉄道株（取締役社長の岸部市長が鷹ノ巣駅から乗車し、「車内健康相談」を行った後、阿仁打当温泉マタギの湯では「温泉の効用について」健康講座が開催されました。参加者は、温泉の泉質や効用についてメモを取るなど熱心に聞き入り、その後、温泉にしみながら交流を深め、心身共にリフレッシュしました。



血圧測定や健康相談が行なわれた内陸線車内